

MOST報告会 FD笑百科

村上裕美

第20回大学教育フォーラム

平成27年3月13日

京都大学

アクティブ・ラーニングに関する 会場の皆様への質問

1. アクティブ・ラーニングの効果を正確に把握
できないと感じることがありますか？

はい 1 , いいえ 2

アクティブ・ラーニングに関する 会場の皆様への質問

2. 色々なアクティブ・ラーニングの方法を
実践しておられますか？

はい 1 , いいえ 2

私のアクティブ・ラーニング の実践例

関西外国語大学短期大学部

新設科目（1回生から開講）

人文学演習

（社会学・英語の講義内容で他大学への
編入試験対策をおこなう）

大学の目的と履修生の希望の

講義の特異性

- ①初めて講義として設けられた科目
- ②大学の目指す方向性と学生の目指す方向性のギャップ
- ③編入に関する進路設定が一様でない
- ④自律した学習者に育てる必要性

この講義におけるアクティブ・ラーニングとは

① 確かな英語力を付ける

② 学習動機を明確にする

③ 編入先に関する十分な調査

④ 編入後の明確な目標の確立

⑤ 編入後の学習計画

⑥ 小

2-6の対策の実例と指導用に作成したシートを
コースポートフォリオに掲載

この講義におけるアクティブ・ラーニングとは

英語学習以外の項目は学習者がもっとも見失っていた。

最も必要でありながら学習者が見落としている点を自ら気付き、計画し、熟考する姿勢もアクティブ・ラーニングと捉えている。

* 詳細はコースポートフォリオをご覧ください。

PBLに関する会場の皆様への質問

1. PBLの定義がいまひとつよくわからない

はい 1、 いいえ 2

PBLに関する会場の皆様への質問

2. PBLは地域や企業との連携のみの活動をいう

はい 1、 いいえ 2

私のPBLの捉え方 (英語基礎講義の視点から)

- ①Learner-centered teachingとしての利点
教員が可能な限り姿を消す工夫
- ②あらゆる教育の場で教師の工夫で活用できる
- ③学習者と学習の目的をprojectとしてとらえ
日常の学習への動機付けをおこなえる
- ④地域や企業との活動の基本姿勢を養える

私のPBLの捉え方 (英語基礎講義の視点から)

- ①編入対策講義も2年間、編入試験終了時までのprojectで学習者が主体となって活動する一種のPBL活動。
- ②必修の文法授業において、授業外活動として学習者がグループで既習内容を取り入れてオリジナルの絵本作成を行った。

講義や科目の制約の中で様々な工夫を行えるのではないか